令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（１）主に対象となる目標１項目に◎　（２）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】小牧市地域活性化営業部　農政課　中原　萌

【Ｅ－ｍａｉｌ】　nousei@city.komaki.lg.jp

事業名	対象年代			基本目標１ 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標２ 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標３ 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標４ 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまをする」人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動や行動を増加	
第３次小牧市食育推進計画PR版を配布			◎											○	○	
市民菜園事業（藤島・池之内）			◎										○	○	○	藤島市民菜園：１世帯１区画→１世帯２区画まで貸し出しできるようにした。
地元野菜の販売（蔬菜研究会）	○	○	◎								○			○	○	
食育の日庁内職員用PCに掲載			◎											○	○	
食育月間について広報に掲載			◎											○	○	
食育チラシの配布（小牧駅）			◎											○	○	
食育ホームページ活用			◎											○	○	
小牧市生活改善実行グループとの連携（料理教室）			◎					○						○	○	
農産物の品評会・即売会			◎								○			○	○	
いきいきこまきでの他団体との連携（農業祭外）	○	○	◎											○	○	
アレルギーに関する講演会の開催			◎											○	○	

【その他の課題・問題点】

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（１）主に対象となる目標１項目に◎　（２）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】　尾張中央農協　農業振興部　営農企画課　　青山　勉

【Ｅ－ｍａｉｌ】　aoyama.tsutomu@ja-owari-chuoh.or.jp

事業名	対象年代			基本目標１ 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標２ 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標３ 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標４ 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさま」をする人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産の食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる人の野菜を栽培	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
(例) 第３次小牧市食育推進計画ＰＲ版の配布			◎								◎			◎	○	
北里小学校　野菜栽培体験		○							○		◎	○	○		◎	野菜の苗（ミニトマト、オクラ、ナス、ピーマン）を調達配布し栽培を学ぶ。（先生の農業に関する指導も必要）
三ツ渕小学校　野菜栽培体験		○							○		◎	○	○		◎	野菜の苗（ナス、エダマメ、トウモロコシ）を調達配布し栽培を学ぶ。（先生の農業に関する指導も必要） 学習用苗（ミニトマト、オクラ、ピーマン）を各２本配布
米野小学校　野菜栽培体験		○							○		◎	○	○		◎	野菜の苗（ミニトマト、ピーマン、オクラ、ナス、エダマメ、キュウリ、トウモロコシ）を調達配布し栽培を学ぶ。（先生の農業に関する指導も必要）
陶小学校　野菜栽培体験		○							○		◎	○	○		◎	野菜の苗（ナス、オクラ、ミニトマト、ピーマン）を調達配布し栽培を学ぶ。（先生の農業に関する指導も必要）
三ツ渕小学校　稲作農業体験		○							○		◎	○			◎	お米の大切さ食と農に関する関心を高めること、働く喜びを感じることを目的とし、地域の農家の方の参加もあり今後も継続
篠岡小学校　桃収穫体験		○							○		◎				◎	ＪＡ研修果樹園で生産する苦労を教える。 そして収穫の喜びを体験する。
陶小学校　桃収穫体験		○							○		◎				◎	農家が桃を育てる苦労を学び（摘果、袋かけ、収穫など）旬の時期をを教え、収穫の喜びを体験する。
ひまわり幼稚園　サツマイモ収穫体験	○								○		◎				◎	幼いうちから土に親しみ、作物を収穫する喜びを体験する。
小牧中学校　桃調理実習		○							○		◎	○			◎	家庭科部の生徒が地元の桃を利用して調理実習を行う。
本庄小学校 大豆栽培と豆腐つくり体験		○						○	○			○		○	◎	大豆の栽培とＪＡ女性部との豆腐つくり体験 （収穫の喜びと豆腐ができるまでの苦労を学ぶ）
篠岡小学校 大豆栽培と豆腐つくり体験		○						○	○			○		○	◎	大豆の栽培とＪＡ女性部との豆腐つくり体験 （収穫の喜びと豆腐ができるまでの苦労を学ぶ）

【その他の課題・問題点】

平成31年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】小中学校校長会　伊藤純子

【E－mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまをする」人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる人の野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
学校教育における健康教育・食育指導		○		○	○		○	○	○			○		○	◎	栄養教諭による食育指導の回数には学校差がある。
学校における農業体験の推進		○						○			◎	○	○	○	○	指導者の高齢化。
学校給食を通じたコミュニケーションの促進		○						◎	○			○		○		
学校給食を通じた食育活動の普及啓発		○			○		○	○	○		○	○		◎	○	
ＰＴＡ・他機関との連携		○	○	○	◎		○	○	○	○	○		○	○	○	

【その他の課題・問題点】

・食物アレルギーをもつ児童生徒への対応を、毎日の給食や校外学習先等で確実に行うことが課題である。

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】小牧市食生活改善協議会　伊藤　貴子

【Ｅ－ｍａｉｌ】takako27@ma.ccnw.ne.jp

事業名	対象年代			基本目標１ 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標２ 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標３ 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標４ 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさま」を言う人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食べ残しをしない人の増加	自宅で野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
(例) 第３次小牧市食育推進計画ＰＲ版の配布			◎											◎	○	
小牧市家庭科調理補助（大城小学校５年生）																今年度は野外学習の日程が変更になり実施できませんでした。
おやこ食育教室	○	◎	○	○	○		○	◎	○		○	○		○		社会や生活の多様化により子供の孤食が増加。親子で学び考えてもらう。
地区健康展（北里・東部地区）			◎	○	○		○	○	○					○		自分が食べた野菜の量と必要な野菜量を実際に手に取り知ってもらう。
生涯骨太クッキング			◎	○	○	○	○	○	○		○	○		○		低栄養・ロコモ・認知症予防を加えた食生活改善活動。 積極的な乳製品摂取を勧める。
歯ピカピックへの参加	○	○	○	○	○		◎	○						○		自分が食べた野菜の量と必要な野菜量を実際に手に取り知ってもらう。
いきいき小牧（農業祭）への参加	○	○	○	○	○		○	○			○			○		自分が食べた野菜の量と必要な野菜量を実際に手に取り知ってもらう。
ヘルスサポーター２１（篠岡・味岡）		◎		○	○	◎	○	○	○		○	○		○		自分の為、家族の為に食べ物を選び調理できる力をつける。
みそ汁塩分調査（家庭訪問）	○	○	○	○	○		○	○	○			○		○		塩分濃度、野菜摂取の簡易調査、若者世代の調査数が少ない。
パパママ教室にて塩分測定年６回			◎	○	○		○	○	○			○		○		子育て世代に塩分に対して意識を持ってもらう。簡易調査。
広報こまき「生き生きレシピ」掲載（年６回）			○	○	○		○	○				○		○		一般家庭にある調味料、食材使用の簡単レシピ。
ふれあいサロン・いきいきサロン・味岡児童館事業参加	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		○		サロン会食会レシピ提供、調理補助、味岡児童館伝承料理教室など。

【その他の課題・問題点】
会員数の減少と会員の高齢化。

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】　こまき環境市民会議　倉知　日出美

【E－mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさま」をする人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
廃食用油の回収		○	○												◎	延べ参加人数及び回収量が減少傾向にあり、廃食用油回収事業の更なる周知が必要。
菜の花プロジェクト	○	○	○					○			○	◎				年によって菜の花の成長に差がある。また、菜の花畑の手入れについて時間と労力の負担が大きい。
エコライフチェックシートの実施		○										◎				「ご飯やおかずを残さず食べた」という項目の実行率を上げるため、効果的なフィードバックの方法を引き続き検討する。

【その他の課題・問題点】
会員の高齢化により事業の拡大・充実が難しい。

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（１）主に対象となる目標１項目に◎　（２）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】小牧市私立幼稚園連合協議会　山口　美穂

【Ｅ－ｍａｉｌ】

事業名	対象年代			基本目標１ 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標２ 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標３ 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標４ 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまをする」などの人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産の食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
(例) 第３次小牧市食育推進計画ＰＲ版の配布			◎											◎	○	
じゃがいもの苗植え　2月	○			○	○			○	○				○	○	○	
じゃがいも収穫　6月	○			○	○		○	○	○			○	○	○	○	
たまねぎ苗植え　１１月	○			○	○			○	○				○	○	○	
たまねぎ収穫　5月	○			○	○		○	○	○			○	○	○	○	
さつま芋苗植え　5月	○			○	○								○	○	○	
さつま芋収穫　１０月	○			○	○		○	○	○			○	○	○	○	
だいこん種蒔き　9月	○			○	○								○	○	○	
人参種蒔き　9月	○			○	○								○	○	○	
だいこん収穫　１２月	○			○	○		○	○	○			○	○	○	○	
人参収穫　１２月	○			○	○		○	○	○			○	○	○	○	
夏野菜の収穫　7月	○			○	○		○	○	○			○	○	○	○	（お泊り保育　年長）

【その他の課題・問題点】
野菜など、園では衛生面から食べない方向になっているが、家に持ち帰り家庭で料理してもらい食べている。保護者より「大根が本当に美味しかった」などと話してくださる。夏野菜など以前の様に園で食べられると、もっと野菜好きな子が増えると思います

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】小牧市生活改善実行グループ連絡研究会　堀尾　由香里

【Ｅ－ｍａｉｌ】

事業名	対象年代			基本目標１ 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標２ 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標３ 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標４ 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまでした」を実践する人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
(例) 第３次小牧市食育推進計画ＰＲ版の配布			◎											◎	○	
ときめきおしゃれレシピ料理教室（2回開催）9月、1月			○								○			○		教室開催のアピールうまくいかなかった とてもすてきなレシピだったのでもっと知ってほしかった
飾り巻き寿司教室		◎						○								
飾り巻き寿司の展示（農業祭）			○					○							○	皆様見てもらい講座の依頼あるといいと思います
生芋こんにゃく作り教室		◎						○			○					手作りのよさをわかってほしいです

【その他の課題・問題点】

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（１）主に対象となる目標１項目に◎　（２）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】学校給食課　小牧市栄養教諭・学校栄養職員研究会

【Ｅ－ｍａｉｌ】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまでした」をする人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
(例) 第３次小牧市食育推進計画ＰＲ版の配布			◎											◎	○	
いきいきこまき体験ブース			◎					○						◎	○	
給食だよりの発行		◎	○	○	○			○			○	○		◎	○	
食に関する指導		◎		○	○		○	○	○		○	○		○		
HPによる啓発活動		○	◎											◎		
学校給食における地場産物や郷土料理の活用		◎								◎	○			○		

【その他の課題・問題点】

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（１）主に対象となる目標１項目に◎　（２）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】　藤岡　富士江

【Ｅ－ｍａｉｌ】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	｢ごいただきます｣をする人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	｢食育｣を知っている人の増加	｢食育｣に関する活動を行や増加	
親子防災クッキング（7月）	○	○	◎				○	◎	○			○		○	○	ポリ袋調理
コープ健康クッキング（月1回）			◎	○	◎	○	○	○	○		○	○		○	○	
ジュニアセミナー（味岡市民センター）		◎						◎						○	○	小牧市食育応援団「きいろいタンポッ歩」として対応 6月　クッキーとフルーツ寒天 7月　チョコバナナスコーンと七夕ゼリー 9月　カラフル団子とスイートポテト
生活展にて、 食育活動の紹介と食育ゲーム	○	○	◎		◎			◎	○					○	○	
コープあいち「小牧のつどい」 ２５以上のメーカーや生産者との試食交流会			◎	○	○			○	○	○	○	○		○	◎	
こどもクッキング（ふらっとみなみ）		◎						◎	○					○		6月　オリジナルクッキー作り　9月　ぱっかん弁にきりとみそ汁 １２月　ポテサラツリーとウインナーロール 2月　チョコバナナスコーンと簡単グミ、ざくざくチョコバー
離乳食講座（北里・南児童館）			◎		○				○					○	○	
飾り巻き講座（南児童館）			◎					○		◎				○	○	

【その他の課題・問題点】
小牧市として食育に取り組んでいることを知っている人はまだまだ少ない。幼少期の食習慣がその子の食のベースになることを考えると、離乳食や幼児食の時からそれを作るママ達への支援がとても大切だと思う。（年代に合わせた食の知識を学ぶ場やそれを日常に取り入れていく方法など）

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】　こども未来部保育課　小牧市立一色保育園　　大野　千恵

【E－mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて豊かな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまをする」などの人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産の食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
(例) 第３次小牧市食育推進計画ＰＲ版の配布			◎											◎	○	
給食展示	◎		○					◎		○		○		○		毎日親子で展示された給食を見ることで食事に関心を持ち、家庭においても食を見直すきっかけになるようにする。
給食見学			◎								◎				◎	実際に子どもが給食を食べている様子を見ていただき、食事への関心を高めることができた。【課題】親子で給食を味わえるとよい。
野菜の収穫	◎							◎					◎			野菜栽培を通して、収穫の喜びを味わうことができた。収穫物でクッキングをする楽しさを味わった。
クッキング	◎							◎				○		○		自分で作ることにより、食材や調理について関心を持ったり、自分で作ったものを食べる喜びや楽しさを味わう。
郷土料理や行事食の提供・地産地消の推進	◎							◎		○	○					季節に応じた食事の楽しさや、地元で取れる食材や特産物への関心が持てるようにする。

【その他の課題・問題点】

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（１）主に対象となる目標１項目に◎　（２）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】小牧市保健センター　栄養士　福澤

【Ｅ－ｍａｉｌ】hokensen@city.komaki.lg.jp

事業名	対象年代			基本目標１ 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標２ 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標３ 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標４ 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまをする」人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動や行動をしている人の増加	
パパママ教室			○	○	◎	○	○	○	○					○		【課題】妊娠中の栄養バランスのとれた食生活が継続できるための働きかけ、行動変容する両親の増加。今後の離乳食、乳幼児期の望ましい食生活への発展
離乳食教室　初期ごっくん教室・後期かみかみ教室			○	○	○		○	◎	○					○		【課題】①可能な限り多くの対象月齢の方に受講してもらうこと ②適切な幼児食への移行、及び将来の望ましい生活習慣の確立
歯みがき教室	○			○	○		◎	○	○					○		【課題】園児への食の健康教育を行い、望ましい食習慣を確立することまた、子どもが家庭に持ち帰り親へ伝えること
ヤング健診結果説明			○	○	○	◎	○									【課題】①新規受診者の増加　②次年度以降の継続受診 ③結果説明の機会をとらえての意識変容
家族の健康を考える食生活講座（ヘルスメイト養成講座）			○	○	○	○	○	○						○	◎	【課題】①講座を通して食の大切さを伝え、受講者から家庭、地域へと広がっていくこと ②ボランティア意欲の高い食生活改善推進員を養成すること
生活習慣病予防相談			○	○	◎	○	○									【課題】通知時期・内容の調整
健康教育、お口元気はつらつ教室			○	○	◎	○	○	○						○		【課題】新規申し込み団体の増加
健康日本２１こまき計画推進部会（栄養・食生活部会）		○	○	○	○	◎	○	○						○		【課題】①こまきヘルシーメニュー 提供店の継続、新規申し込み店舗の増大 過去のデータを分析し外食産業への取り組みを検討 ②働き世代の生活習慣病予防の改善 効果的なアプローチ方法 ③子どもの朝食欠食改善のための方策 ④望ましい体格を知るためのリーフレット 配布後の生徒の変化を分析する ⑤高齢者の低栄養予防（フレイル予防）の検討

【その他の課題・問題点】

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】　環境対策課　若山　愛美

【Ｅ－ｍａｉｌ】　kankyou@city.komaki.lg.jp

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさま」をする人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
廃食用油の回収		○	○												◎	延べ参加人数及び回収量が減少傾向にあり、廃食用油回収事業の更なる周知が必要。
菜の花プロジェクト	○	○	○					○			○	◎				年によって菜の花の成長に差がある。また、菜の花畑の手入れについて時間と労力の負担が大きい。
エコライフチェックシートの実施		○										◎				「ご飯やおかずを残さず食べた」という項目の実行率を上げるため、効果的なフィードバックの方法を引き続き検討する。

【その他の課題・問題点】

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（１）主に対象となる目標１項目に◎　（２）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】　学校教育課　指導主事　兼子正巳

【Ｅ－ｍａｉｌ】

事業名	対象年代			基本目標１ 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標２ 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標３ 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標４ 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまをする」人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
(例) 第３次小牧市食育推進計画ＰＲ版の配布			◎											◎	○	
学校教育における健康教育・食育指導		○		○	○		○	○	○			○		○	◎	栄養教諭による食育指導の回数には学校差がある。
学校における農業体験の推進		○						○			◎	○	○	○	○	指導者の高齢化。
学校給食を通じたコミュニケーションの促進		○						◎	○			○		○		
学校給食を通じた食育活動の普及啓発		○			○		○	○	○		○	○		◎	○	
ＰＴＡ・他機関との連携		○	○	○	◎		○	○	○	○	○		○	○	○	

【その他の課題・問題点】

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】　学校給食課　愛野

【E－mａｉｌ】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	｢いただきます｣｢ごちそうさま｣をする人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産の食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる人の野菜を栽培している人の増加	｢食育｣を知っている人の増加	｢食育｣に関する活動を行っている人の増加	
いきいきこまきにおける体験ブースの出展		○	○		○						○			○		一人ひとりの食の向上につながる内容として効果的な提示を心掛けたい
給食だよりの発行		○	○	○						○	○			○		
食に関する指導		○		○	○			○	○		○	○		○		回数は限られるが、学校給食を通じてより効果的な食育を進めていきたい
学校ホームページによる啓発		○	○											○		
学校給食における地場産物や郷土料理の活用		○								○	○			○		天候や生産者の減少により量の確保が難しいが、「あいちを食べる学校給食週間」などの機会を捉えて積極的な提供を心掛けている。
給食残渣のリサイクル処理		○										○			○	リサイクルするための回収や処理に必要となる経費との兼ね合いも検討しながら進めていく必要がある。

【その他の課題・問題点】

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】
愛知県尾張農林水産事務所　農政課　主査　小澤智子
【Ｅ－ｍａｉｌ】
tomoko_kozawa@pref.aichi.lg.jp

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまをする」人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
「あいち食育いきいきレポート」作成 6月　ウェブサイト上で公開			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	
食育推進ボランティアの登録、情報提供 5月～6月　新規募集			○												◎	令和元年１０月現在登録者数 （尾張地域　197名、うち小牧市4名）
地域食育推進ボランティア研修交流会 令和元年９月25日（名古屋市内で開催）			○								○				◎	<あいち食育いきいきプラン２０２０目標> 食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 （9.1万人（H26）　⇒目標値　10万人/年間（H32））
「あいち食育いきいきシンポジウム」 令和元年11月25日開催（名古屋市）			○		○					○				◎	○	<あいち食育いきいきプラン２０２０目標> 家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合 （77.4%（H26）　⇒目標値　80%以上（H32））
地元農産物を活用した和食講習会の開催 令和2年１月29日開催（刈谷市）			○							◎	○				○	<あいち食育いきいきプラン２０２０目標> 成人一日当たりの野菜摂取量（265g（H26）　⇒目標値350g以上（H32））
食育劇「食まるファイブ」上演の支援（小学校等への資材貸与、シナリオ提供）		○		◎	○	○	○					○		○		<あいち食育いきいきプラン２０２０目標> 朝食に野菜を食べている小中学生の割合 小学生（第5学年） （64.1%（H27）　⇒目標値　80%以上（H32））
ウェブページ「食育ネットあいち」の充実 （随時）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	ウェブページに掲載する食育イベントの情報を常時募集中
小学生の農林漁業体験学習の推進（「学校での農林漁業体験学習に係る地域協力者一覧」配布）		○						◎	○		○		○			<あいち食育いきいきプラン２０２０目標> 農林漁業体験学習に取り組む小学校の割合 （40.5%（H27）　⇒目標値　45%以上（H32））
いいともあいち運動の推進（随時） 令和２年2月1日いいともあいち地域サロン交流会(一宮市)			○								◎					<あいち食育いきいきプラン２０２０目標> 「いいともあいち運動」を知っている人の割合 （19.6%（H27）　⇒目標値　25%以上（H33））

【その他の課題・問題点】
食育推進全国大会　令和2年6月27日、28日　愛知県国際展示場(常滑市)

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】 小牧市歯科医師会　竹内　友康

【E－mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	｢いただきます｣｢ごちそうさま｣をする人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産の食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	｢食育｣を知っている人の増加	｢食育｣に関する活動を行っている人の増加	
歯の健康センター（歯ピカピック）開催	◎	◎	○	○	○		◎	○	○					○	○	参加者の増加対策
学校、保育園、幼稚園での歯科健診、保健指導、健康教育	◎	◎			○		◎	○						○		施設毎の保健指導の実施
よい歯の表彰『健口大賞』		◎		○	○		◎	○	○					○	○	

【その他の課題・問題点】
基本目標１：高齢者の欠損歯数が多い（80歳で平均14本）ことによる咀嚼機能の低下で、カロリーオーバーの栄養不足となる。また、認知症も増加する。
社会性/心のフレイル期⇒オーラルフレイル（栄養面のフレイル期）⇒身体面のフレイル期⇒重度フレイル期となり要介護へ（要介護となる最も多いケース）
防止するには成人期（20代～50代）の虫歯・歯周病の予防対策が必要で、高齢者の欠損歯数を減少させる必要がある。健康寿命の延伸につながる。（定期歯科健診者数の増加）
※フレイルとは、『虚弱』の意味で、健康と要介護の中間で可逆型である。

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】愛知県食品衛生協会小牧支部　高橋　美喜雄

【E－mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさま」などのあいさつをする人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動や行動をしている人の増加	
食品営業者の自主管理体制づくりのための再講習会												○		◎		
食中毒防止の広報、量販店店頭での啓発活動			○											◎	○	
食育推進協力店の推進講習会の開催・パンフレット配布			○		○		○							◎	○	食育推進協力店の登録件数の増加
食品営業関係従事者の検便・食品の細菌検査			○											◎		情報提供をできるようにする
食品営業許可所得への養成講習会			○		○						○			◎	○	
行政・指導員の食品営業施設への定期巡回指導														◎		
食品衛生指導員の大手工場見学					◎											
食品衛生指導員への行政の専門講師による勉強会開催					◎									○		

【その他の課題・問題点】

令和元年度　食育に関する取り組み一覧

★調査方法★　（1）主に対象となる目標１項目に◎　（2）その他に対象になる項目には○（複数回答可）

【報告者名】
森　正行
【Ｅ－ｍａｉｌ】
sgakushu@city.komaki.lg.jp

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思う人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまをする」人の増加	郷土料理を年1回以上実施している人の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しをしなかった人の増加	自宅で食べる人の野菜を栽培	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加	
(例) 第３次小牧市食育推進計画ＰＲ版の配布			◎											◎	○	
夏休み親子食講座		◎								◎						
小牧の伝統食講座			◎							◎						

【その他の課題・問題点】
講座については年度によって内容が異なるため、定期的に食育に関する講座が開催されるとは限りません。そのため、食育推進計画の事業とすべきか検討が必要だと思われます。